

新しい司法書士像を求めて

# ザ・フォーラム

《季刊》1996.4 No.26

発行

司法書士・行政書士  
丹羽正夫事務所

〒461  
名古屋市東区東外堀町32  
番地 鈴木ビル4F  
TEL 052-962-9693  
FAX 052-962-9633

登記・法律問題など、  
お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



## 小さくとも、強い企業

司法書士 丹羽正夫

一 はじめに

景気は、上向き？ 足踏み状態？ よくわかりません。この背景には、デフレ傾向の継続による実質収入・営業利益の減少により、業況判断ができないことが、その要因としてあるようです。また、リストラ、高失業率、住専、高齢者社会、地価の不安定など社会全体に関わる問題もあり、国民が、将来に明るさを見出せない状況もあります。

今回は、小さいが、元気のよい、強い会社に注目してみます。

二 その特徴と具体例

・スピード経営……竜巻で煙草の煙を吸う装置を開発した会社は、中国を生産拠点とするに際し、現地調査から生産出荷体制を整えるまでに一年未満であった。

・顧客満足度の追求……カー用品の会社は、休日でも待たずにオイル交換・買い物ができるように広大な駐車場と作業スペースを確保している。

・新市場の開拓……総務業務全般を引き受ける会社は、非収益業務の経費を半減させるとい

う。  
・独自商品の開発、独自



の製造技術……海水の淡水化プラントで世界シェアの一〇%を占める会社。大手が手を出さない小型道路舗装機で国内シェア六〇%を占める会社。シソの葉エキスの健康食品の製造販売で粗利益率七五%の会社。

・ネットワーキ化……脱サラ希望者を募集、登録しておき、軽自動車と運転手を丸ごと企業に紹介する会社。

・少数精鋭、専門家集団……一営業社員が、商品の仕入れから、販売、在庫管理、売掛金の回収までする会社の従業員一人あたりの経常利益は一九〇〇万円。システムエンジニアの専門職だけを集めたコンピュータソフトの会社。

三 経営方針の見直しと今後の展望

低成長時代においても、独自の経営戦略と積極的なベンチャー精神により、成功している企業が多数存在します。他社の経営方針は自社の方針の見直しのヒントにもなります。「大競争時代」ともいわれる現代社会において、どの企業も新しい経営の方向性を模索しています。

当事務所も、皆様方の幅広いニーズに対し、一歩踏み込んだ法的サービスを目指しております。